「企業会計」の決算状況

病院事業

●収益的
・収入　143億7，452万円
・支出　135億9，098万円
●資本的
・収入　4億5，145万円
・支出　13億7，986万円
◇収益的収支が4年連続の黒字
◇医業収支は12年連続の黒字

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、地域の医療機関との緊密な医療連携のもと、良質な医療の提供による収入確保と経費削減に努めたことで、約7億8，354万円の黒字となり、安定した経営を継続しています。

水道事業

●収益的
・収入　21億1，782万円
・支出　18億5，194万円
●資本的
・収入　2，347万円
・支出　4億3，308万円
◇収益的収支が20年連続の黒字

新半田病院建設等に伴う受託工事収益の増により、水道事業収益は前年度から増収となりましたが、同様に受託工事費も増加しました。企業債の償還が進んだことにより2億6，588万円の黒字となりました。

下水道事業

●収益的
・収入　33億9，588万円
・支出　33億4，808万円
●資本的
・収入　17億4，769万円
・支出　26億8，672万円
◇収益的収支が6年連続の黒字

下水道に接続した世帯の増加による使用料収入の増加、企業債償還利息の減少による費用の削減により、約4，780万円の黒字となりました。これは一般会計繰入金からの補てんによるものであるため、引き続き、接続率の向上を図るなど経営の健全化に努めてまいります。

半田市の財政を家計にたとえてみると…

1か月の支出44万8千円(※)をまかなうのに、月収(市税など)や実家からの仕送り(国庫支出金、県支出金)など、46万円の収入がありました。

今後、家族の医療費(扶助費)や家の補修費用(維持補修費)の増加が見込まれるため、計画的に貯金(基金)を増やすことも考えなくてはなりません。

はんだ家1か月の家計簿

☆（　）は予算上の項目です。

収入

月収〈給料、各種手当〉(市税、地方交付税、地方譲与税ほか)	27万2千円
実家からの仕送り(国・県支出金)	12万7千円
パートなどの副収入、資産活用、雑収入など(使用料、負担金、財産収入など)	4万7千円
先月の残り(繰越金)	1万4千円
ローンの借入(市債)	0円
合計	46万円

支出

家族への仕送り(繰出金、補助費等)	11万円
生活費〈食費、光熱費など〉(人件費、物件費)	13万2千円
家族の医療費など(扶助費)	11万6千円
家の増改築、補修など(維持補修費、普通建設事業費)	2万円
貯金、その他雑費(基金積立金など)	5万3千円
ローンの返済(公債費)	1万7千円
合計	44万8千円

※日本の一世帯当たりの平均所得月額46万円に、半田市の一般会計歳入歳出決算額に占める各費目の割合を乗じ、一般家庭に相当するそれぞれの額を算出しています。(参考：厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」)